

# 2018年度富山大学公開講座とオープン・クラス(公開授業) アンケート調査報告

富山大学地域連携推進機構 生涯学習部門



本稿は、2018年度富山大学公開講座、オープン・クラス（公開授業）の受講生と担当教員に対するアンケート調査の結果報告である。受講生の基本属性や学習ニーズの把握を目的とする。

## I 公開講座

2018年度公開講座受講者数は延べ661人であり、このうちアンケート回答者は516人であった。回収率は78.1%である。

図表1 回答者の性別

	度数	パーセント
男性	201	39.0
女性	307	59.5
無回答	8	1.6
合計	516	100.0

図表2 回答者の年齢

	度数	パーセント
10代	8	1.6
20代	17	3.3
30代	49	9.5
40代	68	13.2
50代	109	21.1
60代	169	32.8
70代以上	93	18.0
無回答	3	0.6
合計	516	100.0

図表3 回答者の世代

	度数	パーセント
学生	9	1.7
勤労世代	150	29.1
子育て世代	35	6.8
シニア	203	39.3

図表4 回答者の職業

	度数	パーセント
会社員	136	26.4
自営業	34	6.6
公務員	34	6.6
主婦・主夫	90	17.4
アルバイト・パート	59	11.4
学生	7	1.4
無職・退職	101	19.6
その他	22	4.3
無回答	33	6.4
合計	516	100.0

図表5 回答者の最終学歴

	度数	パーセント
義務教育卒	4	0.8
高等学校卒	72	14.0
専門学校卒	32	6.2
短大・高専卒	67	13.0
大学卒	286	55.4
大学院卒	42	8.1
その他	3	0.6
無回答	10	1.9
合計	516	100.0

図表6 回答者の居住地

	度数	パーセント
富山市	311	60.3
高岡市	66	12.8
その他	108	20.9
無回答	31	6.0
合計	516	100.0

まず、回答者の属性についてみてみよう。

図表1の「回答者の性別」は、男性201人(39.0%)、女性307人(59.5%)となっており、女性の割合が高くなっている。

図表2の「回答者の年齢」は、10～30代が74人(14.4%)、40～50代が177人(34.3%)、60代以上が262人(50.8%)となっており、シニア層の割合が高いことがわかる。

図表3の「回答者の世代」は、学生が9人(1.7%)、勤労世代が150人(29.1%)、子育て世代が35人(6.8%)、シニア世代が203人(39.3%)となっていて、ここでもシニア世代の割合が高い。

図表4の「回答者の職業」は、勤労層の割合が最も高く、全体の263人(51.0%)を占めている。これに対し主婦・主夫と無職・退職層は191(37.0%)となっている。何らかの職業に従事しながら公開講座を学ぶ者の割合が高い。

図表5の「回答者の最終学歴」は、大学卒以上が328人(63.5%)となっており、高学歴の傾向がみられる。

図表6の「回答者の居住地」をみると、富山市が311人(60.3%)、高岡市が66人(12.8%)、その他が108人(20.9%)となっている。

図表7 受講回数

	度数	パーセント
初めて受講	127	24.6
2-5回	205	39.7
6-10回	100	19.4
11回以上	78	15.1
無回答	6	1.2
合計	516	100.0

図表8 公開講座を知ったきっかけ(複数回答)

	度数	パーセント
友人・知人・家族の紹介	106	20.5
職場等の紹介	11	2.1
大学からの郵便物	188	36.4
新聞折込チラシ	57	11.0
富山大学のWebサイト	200	38.8
富山大学のfacebook	5	1.0
ポスター・チラシ	37	7.2
電車内吊り広告	2	0.4
その他	39	7.6

図表9 公開講座を受講した目的(複数回答)

	度数	パーセント
知識・教養を深めたい	407	78.9
専門知識・技術を習得したい	103	20.0
仕事に役立てたい	58	11.2
余暇を充実させたい	165	32.0
交友関係を広めたい	47	9.1
大学の様子をよく知りたい	20	3.9
その他	23	4.5

図表10 目的の達成に役立ったか

	度数	パーセント
役立った	337	65.3
まあ役立った	153	29.7
どちらとも言えない	21	4.1
あまり役立たなかった	2	0.4
役立たなかった	1	0.2
無回答	2	0.4
合計	516	100.0

図表11 講座の難易度

	度数	パーセント
易しかった	27	5.2
やや易しかった	53	10.3
ちょうどよい	304	58.9
やや難しかった	101	19.6
難しかった	30	5.8
無回答	1	0.2
合計	516	100.0

図表 12 講座の満足度

	度数	パーセント
満足している	320	62.0
まあ満足している	170	32.9
どちらとも言えない	13	2.5
あまり満足していない	6	1.2
満足していない	4	0.8
無回答	3	0.6
合計	516	100.0

図表 13 受講して良いと感じた点 (複数回答)

	度数	パーセント
講座内容の質が高く、充実している	218	42.2
専門性の高い講座を実施している	107	20.7
講座の種類が豊富である	37	7.2
他では実施していない講座がある	103	20.0
大学の先生や専門家が教えてくれる	150	29.1
熱心・丁寧な先生の指導	264	51.2
職員・スタッフの対応が良い	246	47.7
利用案内やイベント等の情報提供が充実している	44	8.5
受講しやすい開講日・時間となっている	259	50.2
立地・交通利便性が良い	266	51.6
静かな雰囲気での勉強ができる	195	37.8
施設が快適・充実している	138	26.7
人間関係を築ける	77	14.9
色々な職種や世代の人と一緒に学習できる	242	46.9
その他	10	1.9

図表 14 公開講座に期待する点

	度数	パーセント
講座内容の質が高く、充実している	248	48.1
専門性の高い講座を実施している	122	23.6
講座の種類が豊富である	172	33.3
他では実施していない講座がある	136	26.4
大学の先生や専門家が教えてくれる	118	22.9
熱心・丁寧な先生の指導	113	21.9
職員・スタッフの対応が良い	79	15.3
利用案内やイベント等の情報提供が充実している	112	21.7
受講しやすい開講日・時間となっている	278	53.9
立地・交通利便性が良い	179	34.7
静かな雰囲気での勉強ができる	126	24.4
施設が快適・充実している	147	28.5
人間関係を築ける	71	13.8
色々な職種や世代の人と一緒に学習できる	186	36.0
その他	12	2.3

図表 15 今後受講してみたいと思う講座のジャンル (複数回答)

	度数	パーセント
語学系	207	40.1
人文教養系	172	33.3
社会問題系	64	12.4
ビジネス・経済系	62	12.0
趣味系	104	20.2
芸術系	134	26.0
スポーツ・健康系	43	8.3
資格取得系	35	6.8
IT系	74	14.3
理工系	64	12.4

図表 16 受講にあたり都合の良い時間帯  
(複数回答)

	度数	パーセント
平日 10-12	114	22.1
平日 13-15	105	20.3
平日 15-17	57	11.0
平日 18-	138	26.7
平日 19-	100	19.4
土曜日 10-12	202	39.1
土曜日 13-15	154	29.8
土曜日 15-17	76	14.7

次に、公開講座を受講した目的や結果などについての回答結果をみてみよう。

図表 7 は回答者がこれまでに公開講座を受講した回数を示したものである。もっとも多いのが 2～5 回 (205 人、39.7%) であった。はじめて受講したのは 127 人 (24.6%) である。

図表 8 は公開講座の存在を知ったきっかけについてたずねた結果である。最も PR 効果が高かったのが富山大学の Web サイトであり (200 人、38.8%) 大学からの郵便物 (ダイレクト・メール) (188 人、36.4%)、友人・知人・家族の紹介 (106 人、20.5%) が続いている。

図表 9 は公開講座を受講した目的についてたずねた結果である。最も多いのが、「知識・教養を深めたい」で 407 人 (78.9%) が回答している。「余暇を充実させたい」(165 人、32.0%)、「専門知識・技術を習得したい」(103 人、20.0%) がこれに続いている。

図表 10 は、図表 9 の受講目的を達成できたかどうかをたずねた結果である。「役立った」と「まあ役立った」をあわせると 490 人 (95.0%) に達しており、おおむね良好な学習結果があったと考えられる。

図表 11 は講座の難易度についてたずねた結果である。「ちょうどよい」が最も多くなっている (304 人、58.9%)。それに続いて、「やや難しかった」が 101 人 (19.6%) という結果であった。

図表 12 は公開講座を受講したことに対する満足度をたずねた結果である。「満足している」「まあ満足している」をあわせると 490 人 (94.9%) にのぼり、おおむね好評であったと

考えられる。

図表 13 は公開講座を受講して良いと感じた点についてたずねた結果である。「立地・交通利便性が良い」が最も多く (266 人、51.6%)、「先生が熱心・丁寧に教えてくれる」(264 人、51.2%)、「受講しやすい開講日・時間帯となっている」(259 人、50.2%) が続いている。

図表 14 は公開講座に今後期待する点についてたずねた結果である。「受講しやすい開講日・時間帯」が最も多く (278 人、53.9%)、「講座の質が高く、充実している」(248 人、48.1%)、「色々な職種や世代の人と一緒に学習できる」(186 人、36.0%) が続いている。

図表 15 は今後富山大学で受講したいと思う講座のジャンルについてたずねた結果である。最も人気のあるジャンルは語学系であり、207 人 (40.1%) にのぼる。これに続いて人文教養系 (172 人、33.3%)、芸術系 (134 人、26.0%)、趣味系 (104 人、20.2%) に人気が集まっている。

図表 16 は公開講座の受講にあたり都合の良い時間帯についてたずねた結果である。「土曜日 10-12 時」(202 人、39.1%)、「土曜日 13-15 時」(154 人、29.8%) など、休日を希望する割合が高くなっている。平日では「18 時以降」(138 人、26.7%)、「平日 10-12 時」(114 人、22.1%) を希望する割合が高い。

以下は、アンケートの自由記述欄に記載された内容である。

#### <講座に対する感想>

- ・今回初めて受講させていただきましたが、勉強の方法も学べましたし、とても楽しくすることができました。
- ・古今和歌集に触れることができました。
- ・各先生方の教え方に差があるのを感じた。すぐく判りやすい先生と、少し理解するのに時間が必要な感じ!! 講義時間内に 100% 頭の中に入り理解できるわけがないので、復習のための資料が必ず必要だと思いますが、それが全くない場合があります。
- ・講師の先生方、運営スタッフの皆様方、大変親切でした。誠にありがとうございました。
- ・ゆっくりペースで分かりやすくききやすく丁

- 寧に進めてもらい良かったです。質問の有無を確認され、質問に答えて下さり、良かったです。BGMよかったです。
- ・受講できて大変よかったです。残りの人生は少ししかありません。最高でした。
  - ・生かじりのフロイトやユングのような、心の内に深くおりていく精神分析の手法を心理学とっていたので、外の刺激に対して身体(脳)が示す反応から、こころを読み解く方法には、新鮮な驚きを感じた。心理学は初めてだったので、知らない言葉が多々あり、消化不良気味です。
  - ・世界と私を捉える視座の土台となる「スキーマ」(?)も、さまざまな外からの刺激によって形成されていくのかもしれないと思うと、あらためて「私」って何?と思う。闕下の刺激なども恐ろしいことだ!
  - ・〇〇先生の説明はていねいでとてもわかりやすかったです。心理学はとても奥が深いのですね。ありがとうございます。
  - ・専門性の入門講座をとときき入れていただけると新しい分野に入れそう。
  - ・いろいろな理論がたくさん聞けてよかったです。
  - ・DVDなどもあって専門的なものも見られる。実験のイラスト、データも多い。自分だけで専門書を読むのは困難なので、イラストの説明もあってわかりやすい。
  - ・内容が理解できていない。一回では難しいです。
  - ・新しいスケールを見つけることができました。
  - ・杉谷キャンパスに行ってみたい!
  - ・都市デザイン学部、都市交通デザイン学科の先生方、勢いがある素敵ですね。入学して学びたいと思いました。
  - ・難しくてよくわからないところもあったけど、普段生活するだけではきくことができないこととか面白かったし、年上の人たちの話を聞いて大変なんだなーとか意外とそんなことでもいいんだーとかいろいろ知れて、ちょっと大人に近づいた気がする。
  - ・ありがとうございます。
  - ・大学で学んだことの復習、そして深化になりました。
  - ・教え方が良い。上手に誘導して下さいます。いやな思いしません。嬉しいのですが、当方の勉強不足を申し訳なく思います。
  - ・専門外のインフラのことが、よく理解できました。
  - ・専門家が対象なのか、一般向けなのかが多少あいまいであった。
  - ・新しく都市デザイン学部ができたので、事業を通じて広めてほしい。
  - ・よい練習になった。
  - ・先生がすばらしい。
  - ・石川県にはこんな講座が少ないので、富山大学はすばらしいといつも感じています。
  - ・実際の韓国のテレビ番組をテキストに遣っているの、生きた韓国語を学ぶことができる。先生が毎回テキストを作ってきてくださる(字が大きくて見やすいです)ので助かる。
  - ・なかなかついて行けなくてあきらめそうになりましたが、続けられて良かったです。
  - ・とても安価で、ありがたく思います。
  - ・自分の好きな音楽の分野で、アカデミックな講習を受けられた。
  - ・音楽の楽しさ、歌うよろこび、原語を知ることでも一層深く感じられた。
  - ・子どもが楽しそうに取り組んでいた。これから小学校でもプログラミングがあるので、参考になった。
  - ・とても面白く、子どもも興味を持って取り組んでいたのとてもよかったです。
  - ・息子がワクワクして取り組む姿勢が、とても印象的でした。
  - ・講師の先生の技術と説明がすばらしく、たいへん有意義な時間となりました。終わるのがさみしいぐらい充実した内容でした。来年もぜひつづけてほしいです。
  - ・和菓子の豆知識や小ネタのような情報が、自分にとってはとても面白かった。
  - ・日常的な和菓子(おはぎ、団子など)も作ってみたいです。
  - ・講師の方、講習を企画して下さった富山大学の先生、とてもすばらしい方々で、恵まれた環境でよい材料でちゃんと教えて下さり受講できてとてもよかったです。本当にありがとうございました。
  - ・季節の和菓子をもっともっと学びたい(実習

したい)です。

- ・楽しかったです。
- ・楽しく充実した講座でした。ありがとうございました。
- ・とても充実していました。
- ・これからも色々な講座を受けたい。
- ・レリーの理解がある程度できた。
- ・日頃できないことをできました。つくりたいものを作るために、たくさんアドバイスをいただきました。形になったことがとてもうれしいです。
- ・継続してこれからもものづくりに力を入れて開講していただきたいです。
- ・自分で考える自由度が高かった。支援して下さる体制が充実していた。
- ・高岡銅器の製法を体験できる本当に貴重な機会でした。
- ・本格的イタリア料理の調理、試食ができてとても満足しています。
- ・とっても楽しかったです。うれしいおみやげです。
- ・和菓子の講座面白かった。植物園も。自分の生活に役立てたい。
- ・大変充実した時間を過ごさせていただきました。先生も熱心にご指導受けましたし、いっしょの生徒さんたちからも沢山のことを教えていただきました。また参加したいです。
- ・楽しく学びました。ありがとうございました。
- ・今回、大変参考になりました。今後とも質の高い講座を期待しております。
- ・先生の講座の進め方が良かった。細かく事例もまじえて、参考になりました。
- ・これからも機会があれば受講したい！！
- ・わかりやすかった。先生の説明と学生さんのフォローで疑問がすぐ解決できた。
- ・子ども向けのプログラミング講座が多い中、大人も受講させていただけたこともうれしくありがたかったです。大人でもプログラミングに興味のある人は多いと思うので、もっといろいろ開かれると嬉しいです。
- ・この講座で出会わせていただいた先生方、クラスメートに感謝です。
- ・良い講座だと思いました。一回参加できない回があり、その分残念でした。
- ・スライド画像を全部プリントして資料として

いただけてたいへん満足です。ありがとうございます。

- ・今後とも興味のわく科目を実施して下さい。期待しています。ありがとうございました。
- ・水曜日が楽しみでした。楽しい講座をありがとうございました。
- ・受講日ギリギリに申し込んだが、受け付けていただけてよかったです。ありがとうございました。
- ・お世話ありがとうございました。
- ・音楽で元気になりました。感謝しています。
- ・今後もこの講座があれば受講したいと思います。お世話になりありがとうございました。
- ・病気に音楽療法が役立っていることがよくわかった。
- ・年齢をかさね、特に日頃思い当たる節もあり、関心をもって初めて受講しました。とても新鮮で楽しく参加できました。音楽の持つ力はあらためて生活の中に必要なこと。刺激は特に思いました。次回また受講したいと思います。ありがとうございました。
- ・音楽を中心としたボランティア活動により知識になりました。今後も活かしていきたいと思います。
- ・身近に感じられる講座内容が興味を持てる。
- ・テキストが難しかったので、終わってから達成感を得た(限界ですが)。
- ・今の講座を来期も続けたいが、人数が少なくなっており、来期は存続の危機に面している。
- ・毎回、変化に富んだ授業で楽しかった。
- ・毎回、ほどよいレベルの教材をさがしてくださり、指導も熱心で授業が充実している。
- ・教え方がうまい。
- ・学びやすい環境(費用面を含み)を用意していただき、感謝しております。
- ・日々の生活の楽しみです。

#### <講座に対する要望>

- ・来年クラスがなくなっていくところがなくなります。8年も続けてきたのに本当に残念です。
- ・夜の韓国語講座を無くさないで下さい。お願いします。
- ・平日夜の部の講座を無くさないでほしい！！仕事をしながら学ぶのに本当に良い時間なの

- で。私の人生を豊かにしてくれる講座です。うばわないで下さい。私の楽しみを。
- ・花園町の農園で家庭菜園を教えてください。
  - ・〇〇先生の夜のクラスを減らさないで下さい。来年度は参加できそうにありません。大変不満です。
  - ・行動経済学の講座を希望します。
  - ・先生を交え、受講者同士が討論(単なるおしゃべり程度かもしれないが) できる時間も、少し含まれているとうれしいのですが。
  - ・入門的な語学講座があればよい。例えば英語なら言葉の語源、英語成立の歴史、文法の特徴等。
  - ・一部の講座で題目と講義内容の乖離があった。講座の題目だけでなく、「ねらい」や「概要」なども事前に告知してもらえるとありがたい。
  - ・資料の配付のない講座があった。要約版、概要版でもほしかった。1回の講義では、確実に忘れるため、また、事前に講座内容がわかると一層良かった。質疑応答時間を確実に設けてほしかった。
  - ・継続的な受講可能な仕組みを希望します。県民講座、市民講座、民間と連携すれば、より一層効果が期待できると思います。
  - ・フィールドワークがあったらよいと思います。
  - ・内容はとても面白いが、もっと深い話を期待していた分、残念に思う。
  - ・都市デザイン学部や工学部のいろいろな切り口での講座が継続されることを期待します。
  - ・いい講座なので多くの人に存在を知ってもらいたい。
  - ・アンケートがどう反映されているのか知りたいです。
  - ・先生からの一方向からの講義だけでは、せっかく富山で教室に集まってやる価値がない。これからは参加者同士の相互作用が生まれる講座に参加したい。
  - ・資料のスライドを、著作権上の難がないかぎり1ページも余すところなく配布してほしい。電子的な配布も可。受講料が高くなっても構いません。
  - ・ディスカッションを主体としたワークショップ形式の講座。これを実現するために、水準が一定以上の受講者を対象にする必要がある
- ので、「入試」のようなものが必要かも。終了後に茶話会のような場があるとよい。
- ・ケーブルTVで放送大学のようなことができないだろうか？
  - ・期待していた分、内容が平易なものが多くて残念だった。個別の具体例をもとに富山で行ったらどうなるかの予測を考えたり発表しあえたりできたらもっとよくなると思った。
  - ・講座後個別に質問できる時間が限定されていて、質問しにくい。また後日新たな疑問や質問がでてくることもある。なので、受講者限定で質問できる環境、例えば専用ツールがあるといい。
  - ・単年だけでなく複数年にまたがる系統だったカリキュラムを望む。片方向に加え双方向の講義を望む。
  - ・ロシア語初級、日本人講師で開講してほしい。
  - ・〇〇先生の授業を増やしてほしい。
  - ・今年から中級と上級の2つのクラスになって、中級の人数が増え、昨年までと雰囲気が変わったように思います。以前の方が親しみを感じる事ができたように思います。
  - ・今受講している講座について、もっとディスカッションをしてほしい。
  - ・親子で家庭菜園をまたやっていただきたいです。
  - ・子どもと一緒に参加できる講座だと、参加しやすいです。
  - ・子どもと一緒に参加できる講座があるとうれしいです。
  - ・オンライン学習や自分の調整可能な時間での学習ができればよい。
  - ・高岡キャンパスでも同じ講座があるとうれしい。
  - ・同じメンバーで食事などしたら子どものつながりができる気がしてうれしい。
  - ・富山らしさの強いもの。同じ人が何度も同じものを受講するよりも、家にこもりがちな人たちが来るように広報が地域密着の組織に働きかけてもいいかも。長寿会や婦人会など。
  - ・参加希望者が全員講座を受ける事ができれば良いと思うが、それが無理なら富山県民大学(県民カレッジ)という講座なら県民優先で人選してほしい。
  - ・なかなか和菓子を学ぶ機会がないので、とて

もうれしい講座でした。休日の昼間が来やすいです（働いているので）。

- ・専門知識と技術向上のための入門・初級・中級・上級があっても良いと思います。
- ・今年度興味を持つ講座が他になかったので、もっと易しい講座を開設してほしい。タブレットや携帯で録画されるのだが、前に出られると後ろにいる人が見えない。特にタブレットは迷惑。
- ・もっと他の言語もあれば良いです（ドイツ語会話中級）。
- ・子ども向けの講座。
- ・小学生向けの公開講座を、また、沢山開催していただけたら嬉しいです。
- ・専門性と職種にいかせるものを。
- ・趣味などやガラスや陶芸など富山の特産にかかわることも習いたいです。
- ・ビジネスに活かせる講座は平日夜間にあると行きやすく、ぜひ参加したいと思う。駅前とかだとおうれしい。
- ・資料のPPT配付・配信、可能なら予習用に事前の配布・配信。
- ・修了証書とシールは希望者のみにしてほしいです。資源がもったいないです。

#### <環境面の要望>

- ・駐車場のない時は大変
- ・駐車場が全く止められない時は困ります。
- ・冷房が効きすぎて寒かった。
- ・黒板文字は、生徒の空席列の前に記載された方が見やすい。教室が寒かった。外気温との差をできるだけ小さくしてほしい。
- ・素晴らしい講義内容ですが、教室の床にゴミがたまっているのできれいにしていただけたらなおありがたいです。
- ・C i Cでの開催は非常に参加しやすいです。
- ・18：15～だとより参加しやすいです。
- ・富山大学構内での受講。
- ・駅前で平日夜開催は大変行きやすいです。
- ・平日18：00～富山駅前での開催は大変参加しやすかったです。
- ・C i C 5 Fフロアが城址公園方向に抜けられないので改善していただきたい。
- ・駐車場を確保してほしいです。
- ・生涯学習講座のための駐車場をもう少し確保

してほしいです。駐車許可証など作ってもらうのはいかがでしょうか。

- ・駐車スペースがなさすぎです。毎回満車というのはいかがなのでしょう？受講生に車で来ないようにと言うことかと思ってしまいます。
- ・駐車場がとても狭くいつも探すのが大変です。もう少し近くに駐車スペースを確保して下さい。
- ・駐車場があまりなくて残念（スペースはあるのに・・・）。
- ・駐車場のスペースがないので非常に不便に感じています。是非、是正していただきたい問題です！よろしくお願いします！！
- ・平日夜の講座があると、仕事帰りに受講しやすいです。駐車場の台数を確保してほしいです。
- ・駐車場の駐禁になっている場所が多すぎる。7/30～の利用のために7/28からポールを立てるのはおかしい。
- ・駐車場を広く。
- ・駐車場がなかなか無い時や他のイベントと重なり、不便がないよう希望します。
- ・駐車場の確保。自転車専用に変更になり、駐車スペースが少なくなって不便を感じることもある。
- ・休日の講座だったので、駐車場には苦労しなかったが、正門前道路が混んでいてとても時間がかかる。13時開始だが、13：30開始の方が都合がよい。
- ・駐車場の整備。

## II オープン・クラス

### 1. オープン・クラス受講者に対するアンケート結果

2018年度オープン・クラス（公開授業）受講者数は延べ296人であり、このうちアンケート回答者は177人であった。回収率は59.8%である。

図表 17 回答者の性別

	度数	パーセント
男性	125	70.6
女性	47	26.6
無回答	5	2.8
合計	177	100.0

図表 18 回答者の年齢

	度数	パーセント
30代	1	0.6
40代	4	2.3
50代	9	5.1
60代	73	41.2
70代以上	89	50.3
無回答	1	0.6
合計	177	100.0

図表 19 回答者の職業

	度数	パーセント
会社員	20	11.3
主婦・主夫	23	13.0
無職・退職	107	60.5
自営業	9	5.1
アルバイト・パート	2	1.1
公務員	1	0.6
その他	14	7.9
無回答	1	0.6
合計	177	100.0

図表 20 回答者の世代

	度数	パーセント
勤労世代	18	10.2
子育て世代	4	2.3
シニア	143	80.8
無回答	12	6.8
合計	177	100.0

図表 21 回答者の最終学歴

	度数	パーセント
高校卒	20	11.3
専門学校卒	11	6.2
短大・高専卒	11	6.2
大学卒	116	65.5
大学院卒	17	9.6
その他	1	0.6
無回答	1	0.6
合計	177	100.0

図表 22 回答者の居住地

	度数	パーセント
富山市	87	49.2
高岡市	46	26.0
その他	38	21.5
無回答	6	3.4
合計	177	100.0

まず、回答者の属性についてみてみよう。

図表 17の「回答者の性別」は、男性125人（70.6%）、女性47人（26.6%）となっており、圧倒的に男性の割合が高くなっている。

図表 18の「回答者の年齢」は、30～50代が14人（8.0%）、60代以上が162人（91.5%）となっており、シニア層の割合が圧倒的に高い。

図表 19の「回答者の職業」は、主婦・主夫と無職・退職の割合が最も高く、全体の73.5%を占めている。これに対し勤労層は18.1%となっている。

図表 20の「回答者の世代」は、勤労世代が10.2%、子育て世代が2.3%、シニア世代が80.8%となっており、シニア世代の割合が最も高い。

図表 21 の「回答者の最終学歴」は、大学卒以上が 133 人 (75.1%) を占めており、高学歴の傾向がみられる。

図表 23 の「回答者の居住地」をみると、富山市が 87 人 (49.2%)、高岡市が 46 人 (26.0%)、その他が 38 人 (21.5%) となっている。

図表 23 受講回数

	度数	パーセント
初めて受講	27	15.3
2-5 回	35	19.8
6-10 回	44	24.9
11 回以上	68	38.4
無回答	3	1.7
合計	177	100.0

図表 24 オープン・クラスを知ったきっかけ  
(複数回答)

	度数	パーセント
友人・知人・家族の紹介	41	23.2
新聞折込チラシ	6	3.4
職場等の紹介	4	2.3
ポスター・チラシ	7	4.0
大学からの郵便物	98	55.4
Web サイト	57	32.2
facebook	7	4.0
その他	12	6.8

図表 25 オープン・クラスを受講した目的  
(複数回答)

	度数	パーセント
知識・教養を深めたい	168	94.9
専門知識・技術を習得したい	89	50.3
仕事に役立てたい	57	32.2
余暇を充実させたい	124	70.1
交友関係を広めたい	65	36.7
大学の様子をよく知りたい	67	37.9
その他	2	1.1

図表 26 授業の難易度

	度数	パーセント
易しかった	4	2.3
やや易しかった	15	8.5
ちょうどよい	107	60.5
やや難しかった	43	24.3
難しかった	6	3.4
無回答	2	1.1
合計	177	100.0

図表 27 オープン・クラスの良い点(複数回答)

	度数	パーセント
授業内容の質が高く、充実している	105	59.3
大学の先生や専門家が教えてくれる	104	58.8
専門性の高い授業を公開している	83	46.9
先生が熱心・丁寧に教えてくれる	122	68.9
授業の種類が豊富である	58	32.8
授業を受けることで修了証書もらえる	15	8.5
他では実施していない授業がある	23	13.0
職員・スタッフの対応が良い	66	37.3
受講しやすい開講日・時間となっている	99	55.9
利用案内やイベント等の情報提供が充実している	20	11.3
立地・交通利便性が良い	91	51.4
静かな雰囲気勉強ができる	83	46.9
大学のキャンパスで勉強できる	82	46.3
施設が快適、充実している	19	10.7
図書館などの施設が利用できる	80	45.2
人間関係を築ける	5	2.8
色々な職種や世代の人と一緒に学習できる	67	37.9
受講料が安価である	61	34.5
その他	12	6.8

図表 28 オープン・クラスの満足度

	度数	パーセント
満足している	115	65.0
まあ満足している	51	28.8
どちらともいえない	1	0.6
あまり満足していない	4	2.3
満足していない	1	0.6
無回答	5	2.8
合計	177	100.0

図表 29 受講したいジャンル（複数回答）

	度数	パーセント
語学系	60	33.9
趣味系	14	7.9
人文教養系	107	60.5
芸術系	35	19.8
社会問題系	68	38.4
スポーツ・健康系	9	5.1
ビジネス・経済系	24	13.6
資格取得系	3	1.7
IT系	18	10.2
理工系	45	25.4
その他	5	2.8

次に、オープン・クラスを受講した目的や結果などについての回答結果をみてみよう。

図表 23 は回答者がこれまでにオープン・クラスを受講した回数を示したものである。もっとも多いのが 11 回以上（68 人、38.4%）であり、長期リピートの割合が高い。はじめて受講したのは 27 人（15.3%）である。

図表 24 はオープン・クラスの存在を知ったきっかけについてたずねた結果である。最も PR 効果が高かったのが大学からの郵便物（ダイレクト・メール）であり（98 人、55.4%）、Web サイト（57 人、32.2%）、友人・知人・家族の紹介（41 人、23.2%）が続いている。

図表 25 は公開講座を受講した目的についてたずねた結果である。最も多いのが、「知識・教養を深めたい」で 168 人（94.9%）が回答している。「余暇を充実させたい」（124 人、70.1%）、「専門知識・技術を習得したい」（89 人、50.3%）がこれに続いている。

図表 26 は授業の難易度についてたずねた結果である。「ちょうどよい」が最も多くなっている（107 人、60.5%）。それに続いて、「やや難しかった」と回答した人が 43 人（24.3%）という結果であった。

図表 27 はオープン・クラスを受講して良いと感じた点についてたずねた結果である。「先生が熱心・丁寧に教えてくれる」（122 人、68.9%）が最も多く、続いて「授業内容の質が高く、充実している」（105 人、59.3%）となっており、熱心な授業が展開されている様子がうかがえる。「大学の先生や専門家が教えてくれる」（104 人、58.8%）、「受講しやすい開講日・時間となっている」（99 人、55.9%）なども高い割合を占めている。

図表 28 はオープン・クラスを受講したことに対する満足度をたずねた結果である。「満足している」「まあ満足している」をあわせると 166 人（93.8%）にのぼり、おおむね好評であったと考えられる。

図表 29 は今後オープン・クラスで受講したいと思う授業のジャンルについてたずねた結果である。最も人気のあるジャンルは人文教養系であり、107 人（60.5%）にのぼる。これに続いて社会問題系（68 人、38.4%）、語学系（60 人、33.9%）、理工系（45 人、25.4%）に人気があることがわかる。

以下は、アンケートの自由記述欄に記載された内容である。

#### <授業に関する回答>

##### 【人文】

- ・教室の機能に格差がある。
- ・地方に住んでいてこの講義が受講できることは大変ありがたいと、先生の学恩に深く感謝しています。
- ・英会話中級程度のクラスと TOEIC 対応のクラスを作ってほしい。先生の授業はとても熱心で、丁寧でよかった。
- ・学生さんたちは皆さんまじめで、素直で礼儀正しく、一緒に学べて楽しく励みになった。でも、少し静かでおとなしすぎるから、もっと活発に意見を出す積極性があったらもっと

良かったと思う。

- ・毎回たくさんのプリント（配布資料）が配られ、とても参考になります。
- ・オープン・クラス受講者が私一人なので、かなり恥ずかしい。
- ・学生の遅刻が気になります（授業が始まってから、五月雨式に入ってくる）。
- ・先生によっては出席の点呼に時間がかかり、時間の無駄だと思う（〇〇先生ではない）。
- ・広く世界に目を受け、知りたいと思うようになりました。全世界の国々の絡みがわかってきて、「あっ、そうなんだ。」と思うことも多く、News Watch を書くことが、とてもいい勉強になりました。
- ・朝鮮半島と日本の歴史と文化だけでなく、米朝会談の解説があり充実していた。もっと深く知りたいので続けたい。
- ・充実している。普段家ではできない内容・聞き取り・説明など韓国のことを深く知ることができた。
- ・この受講科目（朝鮮言語文化特殊講義）での韓国の実際の放送を聞き取るのは少々難しいですが、社会情勢なども説明してくださるので、文法の解説もあり、とても勉強になります。どうかクローズだけはしないでください。後期も受講したいです。
- ・「演習」であることが良い。「演習」の科目をもっと増やすとよい。
- ・質問の時間があり、うれしいです。
- ・アジア（中国含む）の歴史がもっとあればよいと思います。また、日本の近代以降の外交について学べるものも・・・と思います。
- ・学生のレベルに合わせての授業に感心しました。また、先生の専門分野（芥川）での探究も知ることができました。明治・大正の文学に私は古典を見ます。
- ・これからはITを活用する学生たちの中に、人間本来学ぶべき人柄、人格、教養、知識とのマッチングと成長が大切だとつくづく感じました。
- ・講座内容が大いに豊富な中で、講座日数の少なさに先生は大変なように思いました。ただ、思考の原点は哲学にあり、また〇〇？の人の世界に及ぼす大いなる影響も、様々なストーリーを見聞きするよりも肌で感じることで

きました。

- ・本講座を受講して、大変役に立ちました。そして、その時々哲学する人たちとの身近さや感性に、AD21～BCの差が全く感じられぬ人間の感性の不変であることも実感しました。〇〇先生の教壇の横にソクラテス、アリストテレスが聞き入っているように思えました。
- ・従来とは異なる方法論で問題に対処できるようになった。
- ・次年度も同じ授業を受け、時事問題を理解したい。
- ・他の言語に比べて、英語の科目が少ないので増やしてほしい。シラバスを見ると、英語の科目で興味深いものがたくさんあるので、オープン・クラスでも受講できるようにしてほしいと思います。
- ・これまで通り、学生中心で授業を進められたら良いと思います。
- ・質問や質疑応答ができるので満足しています。
- ・年齢のギャップを感じないので良い授業です。自発的に勉強できるのでうれしいです。
- ・これまで通り、各種講演会を企画してください。「震災」以外に財務省からも講師を招いて経済講演会の開催を希望します。
- ・質問や意見など、自由に述べるので満足しています。
- ・学生とオープン・クラスの「壁」がないのが素晴らしいことだと思っています。「年齢の差」を感じさせないことは良いことです。ギャップが無いことは何よりだと思っています。
- ・人文知コレgiumなど随時でもよろしいので、各種講演会を開催してほしい。都合をみつけて受講しています。
- ・授業の感想をシェアするのはよいと思います。パソコン・プロジェクタの映像で理解が深まりました。But、授業の中で、たまに学生のグループ討論などもっと取り入れたら、主体的な学びや主張する力をつけることも可能ではないかなと思いました。
- ・現状で満足ですが、曜日変更については、はじめにわかっていると思いますので、オープン・クラス生徒の資料にもはじめから知らせてもらえたらと思います。

- ・図書館を使わせてもらえるのはとても嬉しいです。
- ・シラバスを見て難しそうだとつい尻込みしてしまうのですが、興味のあるものに挑戦していきたいです。
- ・図書館、学食の利用ができてありがたいです。
- ・人文知コレgiumの案内をいただくので、自分の興味のある講義は聴講させていただいております。
- ・経済学部+教養教育で受講できる科目がずいぶん少ない。もっとあるべきだと思います。
- ・充実しています。
- ・今のままでいいです。もし急に休講になった時、連絡があるとありがたいです。
- ・大学のキャンパスで受講できて良い環境です。
- ・学生と一緒に大学の授業を受けるので緊張もしながらついていくのに精一杯ですががんばっています。
- ・丁寧で解りやすかった。配付資料も適切でした。
- ・学生とのコミュニケーションをもっと増やして下さい。
- ・歴史とともに現代の観点から詳しく（おもしろく）説明があり、大変よい講義でした。ありがとうございました。
- ・休講で2回空振りしました。
- ・現役大学生からの意見が全く出ない。スピーチ、ディベートなどの手法を活用した方が良い。
- ・テキスト、新聞などをもっと採用した方が良い。特に、CNNやJAPAN TIMESなど英文のメディアを使って下さい。
- ・もっと学生に本を読ませるべき。レポート提出させよ。
- ・憲法など法律関係の講座があればよい。
- ・法律関係の講座（憲法など）があればよい。
- ・駐車スペースの増加・改善（現状では難しいと思いますが）。
- ・生徒のレベルに合わせた講義をととても上手に展開されている。そこに教える方の知的レベルの高さを感じます。
- ・冬季の教室は少し寒いようです。
- ・講座の中で生徒の意見を聞く機会が挙手などで聞かれていてとても親しみがあります。

- ・60年前の校舎やキャンパス全体を比較すると別世界に居るような気がします、これ以上空き地面積が減らない事を望みます。
- ・今回も授業内容の進め方が新しいやり方でとても新鮮で熱中しました。生徒さん共々、討論したりしてレッスンが楽しくて最高でした！！何を意図しているのか探し当てる感覚で充実した時間を過ごせたこと、感謝です。ありがとうございました。
- ・教養系の授業数が少なくなったように感じた（大学1・2年生対象）。

### 【人間発達科学】

- ・ディスカッション形式の授業があればよい。
- ・日本近現代史の講座があればよいと思う。
- ・約50年前に大学で学んだことが、大きく変わっていることを知り得た。

### 【経済】

- ・経済学部での英語での授業のオープン・クラス化。
- ・先生は大変熱心だった。
- ・学生と同じ教室で受講できるのが良い。
- ・今回同様に、色々な分野で活躍している人の話を直接聞くことができるのは、非常に有意義。次回もぜひ受講したい。
- ・活躍されている第一線の社長クラスの話は、どれも素晴らしい話であったので、感銘を受けた。
- ・固い椅子の上に長時間座ることに慣れていないので、少しつらかった。
- ・記録を取るうえでカメラで撮影することは理解できるが、あまりに長時間にわたりシャッターを切り、授業を妨害することはやめてほしい。
- ・いわゆる「先生」といわれる方の講義より、「社長」、「経営者」の実体験に基づく思考や理論をもっと聞いてみたい。
- ・申し込み受付方法に、インターネットでの対応があるほうが良いと思われる。
- ・アンケートもメールでの送受信であればお互いに楽になるかも。
- ・学外講師（経営者）のお話は、臨場感・説得力があって面白い。
- ・存在を知らないなので、周囲の社員にも受講を

薦めたい。

- ・とにかく格安で、最先端技術に取り組んでおられる方の話を毎回聞けて良かった。
- ・今回、春の間の講義でしたが、出来れば秋期にも開講して通年で受講できるとよい。@2,000 × 7回 = 14,000円でも安いと感じます。
- ・アカデミックな講義(1限)とケーススタディに近い内容(2限)で、組み合わせがとても良かったと思います。
- ・構成、講師選定共に素晴らしかったと思います。
- ・学生も参加したら、もっと良かったと思います。特に事例。
- ・レポート課題があっても良いかと。四コマ1日のカリキュラムでもOKです。
- ・様々な世代の方が受講されていて、刺激になりました。
- ・都合で欠席した場合でも、e-learningで学習できてよかったです。また、〇〇先生のわかりやすい授業内容及び質問票での回答を授業の始めに取り入れて説明されて、大変良かったです。
- ・経済学部の英語での授業のオープン・クラス化。
- ・幅広い講座があるため、県外の人にPRできたらと思います。
- ・日本の近現代史の講座をもうけてほしい。
- ・シラバスの内容が冊子とネットが合っていないので一致させてほしい。
- ・レジメを中心とし、授業内容の進行がわかるのでよい。
- ・スクリーンを利用し、より具体的な例もわかります。
- ・黒板の移動によりメモの遅れも調整できます。
- ・座席と机の幅、奥行きが狭いのが気になります。
- ・今回、初めて大学院の授業を受け、内容は難しかったが、少人数(4人)で年代も様々、留学生もいて、楽しく、充実した時間を過ごすことができた。先生に感謝しています。

#### 【理学】

- ・演習を多くしてほしい。

- ・1限目は家庭の都合で出席できない。聞きたい科目があるが、毎年同じ時間帯なので都合がつかない。年度によって、曜日・時限の変更があるとありがたい。
- ・授業中での質問ができるとよい。シニアは学生さんの邪魔をしたくないので、授業の後で質問させていただいている。
- ・学生がおとなしい。
- ・数年後には、理学・物理学系の大学院の授業も公開してほしい。
- ・予習の関係がありますので、授業の終わりに、次回講義のキーワードを教えてください。
- ・授業時間を2時限、4時限での設定をお願いしたい。シニアのため。
- ・シラバスから完全にはずれているし、授業の準備が不足であると思われる。多くの学生は理解できなかったと思う。研究の他に「教育」の面をもっとしっかりする必要がある。学部・学科内の先輩の教授との打ち合わせなどが必要であろう。元教員として、学生に対する接し方をもう少し考えてもらいたいものだと感じました。
- ・図書館が私には少し寒いです。
- ・今回は授業の内容、課題の出し方と評価などに先生の熱意が強くあられ、学生さんたちも熱心に受講していた。こんな機会に恵まれオープン・クラス制度に感謝です。

#### 【芸術文化】

- ・推薦入試の日など、事前に知らせてほしい。
- ・学生さんと一般社会人の違いをふまえ、適確な指導に感謝しています。大いに感謝しています。
- ・(運営状況) 気持ち良く学ばせていただいています。
- ・(施設環境) 十分にありがたいです。
- ・芸術系の受講を希望していますが、機会が少なくなっている気がします。先生方の負担が増えるからだとは思いますが、広く門戸を開けてほしいと思います。
- ・トイレ(数カ所)改善していただきありがとうございました。

## <自由記述>

- ・今年で5年目になります。もう少し続けたいと思います。
- ・今年度は教養教育のオープン・クラスがなくなったのですが、来年度は復活してほしい。
- ・少子高齢化に伴って、高齢者の生涯学習ということで文科省が取り組んできたものが、教養教育のオープン・クラス（高齢者の一番取り組みやすかった受講科目がたくさんあった）がなくなる等、取り組みが後退していくのは非常に残念。
- ・駐車場に余裕が欲しい。路上駐車も多い。
- ・興味深い授業と、退屈な授業との差が大きかった。
- ・資料が多すぎて、棒読みの授業は退屈だった。
- ・今回（30年度前学期）、急に教養教育が取りやめになった理由が不明。
- ・受講できる授業科目を増やしてほしい。
- ・冬期のオープン・クラスは、シニア世代では雪の状況等を考慮した場合、2限目以降での開講をお願いしたい。
- ・スマホを利用していないから、共に受講している友人に時間割や次回のテーマをスマホより聞いている。簡単な時間割があればと思う。
- ・生涯学習について、知らない人が多い。テレビや新聞でも紹介があればと思う。
- ・今回は大変良い機会でしたので、今後とも、生涯学習事業について注目してゆきたいと思います。
- ・知識・教養の向上に役立った。
- ・もっと多くの市民に参加してもらえるとよい（外国の大学並みに）。
- ・学生さんとの交流ができるとよい。
- ・駐車場が少ないので、もっと近くに駐車スペースがあればよい。
- ・歩道の自転車が危ないです。徐行するか押して歩いてほしい。
- ・富山市の受講料補助がうらやましい。
- ・一昨年に西洋古典語（ギリシア語）を受講しましたが、教科書の途中で終わってしまい残念でした。今年度にラテン語を受講しようと思っていたのですが、オープン・クラスの対象にならなかったのが残念です。
- ・一般教養科目を五福キャンパスに集中したため、オープン・クラス受講の空きがなくなったことは残念。
- ・オープン・クラス受講科目と受講スペースの拡充について工夫が望まれる。
- ・アンケートの塗りつぶしが大変なので、○印を小さめにしてください。
- ・これからもオープン・クラス制度を続けてほしい。知る喜び、学ぶ喜びを感じます。ずっと学び続けたい。少々難しいですが、知る喜びを感じます。
- ・今までの取り組みに感謝、満足しています。
- ・オープン・クラスを今回初めて受講し、一般人と大学生が机を並べて勉強ができるこのシステムはとても有意義です。ずっと継続していただきたいと思います。当該事業を担当されているスタッフの皆さんに感謝です。
- ・現在仕事をしているので週1回しか受講できないが、今後できるだけ受講したいと考えています。
- ・オープン・クラス対象講座の拡大。
- ・受講したいが制限されている科目が多い。
- ・教員の方と話す機会が設けられていれば、教員の方も受講者も、互いの経験の中にあることを聞くことができよいかと思います。
- ・医学部のクラスが少ないと思います。
- ・これまでも開催されていることは知っていましたが、今回受講して、レベルも高く、とてもよい（有意義な）制度だと思いました。
- ・公開講座においても英語関係の科目がなくなっているので、ぜひ英語の科目も開講してほしいと思います。
- ・研究のため、若い学生ばかりでなく、老いた研究者のためにも図書館の書庫利用を可能にしてください（オープン・クラスの複数メンバーの意見）。
- ・当日になって、受講希望科目の担当教員から教室で「受講希望者が集まらないので開講取り消し」の通知。事前に連絡できないのか。
- ・英語（時事英語）の講座を充実してもらいたい。
- ・「オープン・クラス」、夢みたいな取り組みですね。元気な時に学びたいです。オープンにすることで、先生方も受講者も学生さんたちも「ステップアップ」をはかれると思います。

いろいろな科目をぜひお願いします。

- ・各自、どのような意見・要望があったのかをまとめていただき、受講者にも教えてほしいです。私は満足していますので。
- ・ポスターやチラシを大規模商業施設や駅などにも貼ってもらえたら、学ぶ機会がもっと身近になると思います。パソコンを毎日ひらかない世代として。
- ・退職し、高齢になって、外出したりして人との交流が少なくなった今、週に一度でも知識を得るべく大学へ通うということが何にも代えがたく、またこれまでに知識の無かった分野に眼を向け考える機会を与えていただいていると感じています。
- ・木曜日の17:30からの公開講座「ドイツ語中級」までの空き時間に、たまたま前期「社会心理学」後期「文化人類学」という興味のある科目が開講されていたので受講したが、来年度以降空き時間に見合う興味のある科目が開設されるかどうか懸念している。
- ・大学のキャンパスで学生と一緒に授業を受けることができるオープン・クラスの制度はこれからも続けてほしいです。私のライフワークになっています。※この「朝鮮語コミュニケーション(作文/会話)」、「国際関係論」、来期も是非オープンしてほしいです。
- ・英語での授業を増やして下さい。
- ・富山大学の講座がすべて日本語で行われている、英語での授業を増やすべき。特にCNNや英字新聞の多用を実施して下さい。
- ・高齢者は聴力視力体力が衰えていたり、持病を抱えていたりして、若くて元気で優秀な学生さんたちには動けません。関係者の皆様方には、いろいろとご迷惑をおかけしておりますが、今後ともよろしく願いいたします。
- ・〇〇先生が今期で退官されると聞いています。10年以上オープン・クラスでお教えを受けてきました。感謝しています。今後ともご健勝でご活躍されますことをお祈りしています。ありがとうございました。
- ・シニアにとってこのような学びの環境を提供していただき大変ありがたく思っております。
- ・富山は全国でも有数の産学官の連携の取れた

県です。その成果が次第に大学の研究にもいかされて嬉しく思います。ぜひ学生諸君に産官の活用を教えてあげて下さい。そのための学外講師も良いのでは。

- ・先生方は授業、研究、論文等多忙な時間をお過ごしのことと思いますが、授業内容などのことについて質問などする時間があればよいなと思うこともあります。
- ・生涯学習の機会を与えていただきありがとうございます。
- ・今回に限り、本科目の曜日が変わった(金→木)が、オープン・クラスには案内なし、従って1回目は受講できなかった。
- ・シニア世代としては、教養教育部分の受講内容を充実していただきたい。
- ・受講科目を増やしてほしい。
- ・サテライト講座においても、参考図書、参考文献を紹介してほしい。
- ・難しいと思いますが、数年後には、「場の量子論Ⅰ、Ⅱ、素粒子物理学Ⅰ」(修士課程)の公開授業を希望します。
- ・とても良い環境と先生方の授業内容も、すこぶる良いので、できれば、専門的生涯学習が受けられたらいいです。
- ・冬季は道路の積雪、凍結が心配なので、1限にオープン・クラスの授業を組まないでいただけるとありがたいです。魅力のある授業なので欠席したくありません。
- ・オープン・クラスとして受講できる授業の拡大を希望します。もちろん、すべての授業とは言いませんが、もう少し受講できる科目を拡大してもらいたいと思います。

## 2. オープン・クラス担当教員に対するアンケート結果

### 【Q&A集について】

- ・わかりやすい。
- ・英語版があると助かります。
- ・担当教員の懸念を払拭するうえで役に立つと考えております。
- ・分かりやすく、このままでよいと思います。

## 【本学学生と一般市民が同じ教室で受講する形態について】

- ・クラスの趣旨を理解していただける限りにおいては良いことだと思います。
- ・双方の学修に対する刺激となって、たいへん良いことだと思います。
- ・正規の授業運営の範囲内で行われるものならば、意欲ある市民の方々に来ていただくのは有意義なことと思う。
- ・学生が社会経験のある幅広い年代層の受講者と共に学ぶことは、それぞれの視点での意見交換の場ともなり、異なる世代の考えを知るよい機会になると思います。また市民の方にとっても、学生と共にリアルタイムでの大学での授業を受講できるため、より意欲的に学習に取り組んでいただけるのではないでしょう。
- ・本学学生にとってよい刺激となる面が多いと思います。
- ・学生に比べ、一般市民の方の方がモチベーションや基礎学力が高いこともあり、学生のレベルや態度が一般市民にどう受け取られるか心配な場合がある。
- ・本学の学生にとっても、市民受講生の高いレベルの読解力や質問などから刺激を受けることができ、授業のレベルアップのためにも有益であると思う。
- ・熱心な受講態度が、学生に良い意味での刺激を与えてくれている点はよい。ただし、自分の関心に寄せすぎた発言が目立ち、それが、良くも悪くも受講生を惑わせている。教師がきちんと交通整理をすればいい話なので、全体としては特に問題ない。知識の豊富な一般市民が多く、こちら準備が大変であるが、自分の成長にもつながるので、よしとしたい。
- ・積極的に質問もして、学生には良い刺激となったと思われる。
- ・オープン・クラス受講を希望する方は勉強意欲が高いので、学生に良い影響を与えると思う。
- ・年配の方が同じ教室に居ることは学生にとっても刺激になって良いと思います。私は、オープン・クラスの方が教室に居ても、本学の受講生の年齢層を対象とした講義の姿勢をくずしていないので、20歳位の学生に語る内容をそのまま話します。オープン・クラスの受講生はあくまで、大学の平素の講義に一般市民の立場で参加しているわけですから、その対象者がいるからといって、その方に配慮した講義形態を取ることはありません。その様な態度で行っている講義をオープン・クラスで受講している方はどう受け止めているかは知りたい所です。
- ・私の授業では、オープン・クラス生も特別扱いせず。一般学生に混じって対話型のアクティブラーニングに取り組んでもらいます。一般学生からしても人生経験が豊かなオープン・クラス生の発言は有益ですし、当該オープンクラス生にとっても、今ドキの学生たちと活発に議論することは大きな刺激になります。
- ・学生にとっても、市民の方にとっても互いに刺激があり、とてもよい形態だと思います。
- ・一般市民の積極的な学びの姿勢は、学生にもよい影響を与えていると考える。
- ・市民の方を対象とした行事と学生に対する教育は、分離するべきだと考えます。他に公開講座がありますので、そちらに参加していただくべきです。学生の中には、迷惑に感じている人がいるかもしれません。
- ・大人数授業に関しては基本的には問題ないし、むしろ好ましいと思います。
- ・本学学生（主に学部1年生）とオープン・クラス受講生（60代）とでかなり年齢差があったため、講義で最近のSNS等インターネット上の社会問題を取り上げる際、どこまで説明が必要か迷うところがあった。また、配布しているレジュメのフォントサイズについても、オープン・クラス受講生が読みづらそうにしている様子があり、気にかかった。
- ・学生に良い刺激を与える存在で、よかった。

## 【その他、オープン・クラス全般について】

- ・今後は You Tube などで講義の動画を提供することも検討すべきかと思います（すぐには展開できないとは思いますが）
- ・私のクラスでは、今後も積極的に市民の方を受け入れたい考えです。

- ・昨年度も書きましたが、教職の関係で同一授業科目は同一シラバス（すなわち、同一の内容）であることが求められます。同じ受講生の方が数年以上にわたり継続して受講なさる場合、内容が同一の授業となる可能性が高くなりますので、この点への対応をしていただきたくお願いいたします。
- ・オープン・クラスにより広い市民が参加できるよう、さらに広報をお願いしたい。
- ・理系の科目の場合、大学院の授業はオープン・クラスには無理だと思う。特に理論系では、基礎的な科目の十分な理解がどうしても必要であり、ほとんど理解できなかったのではないかと思われる。理系は大学院の授業はオープン・クラスから外す方がよいと思う。
- ・この制度は悪い制度ではありません。私の寡聞するところでは、イギリスの大学では、講義は一般市民の方にもオープンだと伺いました。本当はどうかは知りませんが。だから、一流の学者が行うかなり専門的な講義も自由に聴講できるみたいです。大学がそういう場所だというのはとても素敵なことです。ただ、変な人が出入りしてしまうと迷惑なので、その辺に防衛策も必要でしょうね。
- ・私の教員任期は残り2年しかありませんが、私の退任後もオープン・クラスの継続・発展を期待しています。
- ・ぜひ継続していただきたいですし、可能なら市民への広報にいっそう力を入れて、多くの方に機会を知っていただきたいです。
- ・私の場合、通常の授業に市民の方がいらっしゃることに精神的負担を感じております。オープン・クラスの要請がありますので、受け入れておりますが。
- ・昨今、世間一般においては、大学における人文・社会系の学問分野の存在意義を問う声がしばしば聞かれる。一般市民が大学の学問に触れる機会となっている本学のオープン・クラスにおいては、人文・社会系分野への関心や需要はどの程度のものになっているのか。少々気になった。

### 【生涯学習事業全般について】

- ・「外貨」獲得や教員へのインセンティブ付与

が可能なのであれば、地域にいろいろなニーズがあると思いますので、やり方によって大きな win-win の成果をだす可能性があると思います。しかし、国立大学の非効率な制度や保守的な学内ローカルルールの存在、変化することへの抵抗で無理だと思うので、その隙間について最大限うまく運用されていると思います。

- ・オープン・クラス、科目等履修生、研究生などを一覽で案内できる Web ページがあれば良いと思います。
- ・今後ますます需要が高まる生涯学習分野において、質の高い学習の場の継続的な提供は、地域社会に深い教養をもたらすことができ、大きな社会貢献につながっていると思います。地域における知の拠点として、積極的にニーズを汲み取り、今後もさまざまな分野の講座を提供していくべきではないでしょうか。
- ・これまでどおり、オープン・クラス受講者に対する特別の配慮（内容を平易にするなど）は一切しないという方針を堅持願います。
- ・一般市民の方が授業内容についてシビアだったりすることもあるので、公開講座などは担当者を選ぶ必要があると思う。
- ・若い時に事情があって、大学に行けなかった。あるいは学生運動に熱中してろくに勉強しなかった。あるいは、現役中は仕事に埋没して文化に触れることが出来なかった。そういう方達の為に大学の講義を開放する事はとても良いことだと思います。
- ・市民講座も単に聴講する形式ばかりではなく、参加型・活動型のものも企画・実施して頂く方が好ましかろうと思います。私以外にも、人間発達科学部の教員を中心に人材は豊富なはずです。
- ・支援事業全般をあまり存じ上げていないので、知る機会を得られたらと思います。
- ・毎年、公開講座を企画して実施しております。オープン・クラスに反して、公開講座は市民のための事業です。その趣旨に従って実施しております。学生のための授業と市民のためのものは、趣旨が異なります。

### Ⅲ おわりに

以上のアンケート調査結果を踏まえて、今後の考えられる対応・方策等について考察した結果をまとめる。

- 公開講座、オープン・クラスとも、アンケート結果からきわめて好評だったことが確認できた。今後とも事業の継続実施が強く求められているように思われる。
- 例年の傾向であるが、公開講座の受講生は女性の割合が高く、反対にオープン・クラスは男性の割合が高い。このような性別の不均等がどのような背景のもとで生じてくるのかは定かではないが、どちらも性別によらず受講しやすい環境の構築が必要であるように思われる。
- これも例年の傾向であるが、駐車場スペースの狭隘さについての不満が多い。駐車場の拡大は物理的に困難なことであるため、受講者にはできる限り公共交通機関の利用をうながす必要がある。
- 近年に至り、Webサイトによる広報の重要性が高まっている。メールマガジンやfacebookなどで迅速かつ正確な電子的PR活動につとめていく必要がある。
- 語学公開講座の継続・拡充をのぞむ意見がみられた。継続的・段階的な学びをサポートするためにも、多様なレベルの講座を用意することが可能かどうか検討する必要がある。
- 「趣味などやガラスや陶芸など富山の特産にかかわることも習いたいです」というように、例年「地域学」を求める声がある。もとよりこのようなジャンルは地域に独自の学びの機会を提供することにつながるものであり、積極的に検討していく必要がある。
- 公開講座はほとんどが社会人受講生によって構成されており、相互交流が促されているものと思われるが、オープン・クラスの場合は社会人が少数派であり、居心地の悪さを指摘する声が例年ある。「オープン・クラス受講者が私一人なので、かなり恥ずかしい」。PRの課題が残る。
- オープン・クラスで課題となっていることの一つに「学びの継続性」ということがある。

すなわち、入門的な内容から専門的な内容へ移行する道が閉ざされている場合が多い。オープン・クラスの開講科目数は初期の頃から漸減していることもあり、それぞれの先生方の理解を得ながら幅広く公開してもらうような手立てを考える必要がある。

- その手立てを具体的に考える必要性が高まっている。オープン・クラス開講を促すチラシの作成、学内掲示板でのPR、授業公開に向けての相談への対応など、様々な取り組みが考えられる。
- 他方、大学院授業科目(HGOC)の開放は好評である。「今回、初めて大学院の授業を受け、内容は難しかったが、少人数(4人)で年代も様々、留学生もいて、楽しく、充実した時間を過ごすことができた。先生に感謝しています」、「数年後には、理学・物理学系の大学院の授業も公開してほしい」など。
- 学生との交流、または受講生相互の交流を求める声がある。学んだことを個人的なことからにとどめず、知的な交流が要求されている。
- 担当教員の声を見ると、Q&A集は好評だった。今後も担当者に対するケアにつとめていく必要があるだろう。
- 全般に、社会人受講生の参加が好影響をもたらした、という声が多かった。一方、正規学生と社会人は分けて実施した方が良い、精神的に負担である、同一授業内容を何度も継続してよいのか、などの意見もみられた。今後の課題である。